

## みんなで「舞いあがれ！」



さだまさしさん

私たちの外来小児科学会年次集会に、さだまさしさんをお呼びできたらと夢見ていました。

2011年、東日本大震災のとき、私は被災地に行きませんでした。でも、クリニックの看護師が被災地の出身ということもあり、短期間ですが避難所でボランティアをしてくれました。

「先生のふだんの診療のトークがすごく役立ちました。」帰ってきてすぐにそんなことを言ってくれました。私たち外来小児科医がとても大切にしている「ホームケア」の知識を伝えることが、被災地でとても役立ったようです。

災害医療というと救命救急のようなイメージがありましたが、ナースのその言葉は、もしかすると自分たちにもできることがあるのかもしれない、という気持ちにさせてくれました。

さだまさしさんは、東日本大震災をきっかけに被災地支援を始められ、「公益財団法人 風に立つライオン基金」を作り、地震や水害などの被災地に赴き、慰問や物資支援といった目に見える行動をされています。そして、新型コロナウイルス感染症で活動する、医療、福祉関係者への支援もされています。ごく最近では、トルコ地震への物資支援にも力を入れていらっしゃいます。

学会の最後を飾る、特別セッション、「災害と小児医療と私たち」の特別ゲスト、そして特別講師！として、さだまさしさんに思いを語っていただき、私たちとともに、「次世代へのバトン」を小児医療に携わる者たちに伝えていただけたらと思っています。

私より少し年下の次世代には、「風に立つライオン」の歌に心を揺さぶられ、医療の道に入った方もたくさんいると思います。そのさだまさしさんをお迎えすることで、今回の年次集会の価値をより確かなものにできると思います。

さだまさしさん、朝ドラの舞ちゃんだけじゃなく、私たちにもエールを送ってください！  
参加していただく皆さま、ぜひお楽しみに。

第32回年次集会会頭 山本 淳

### さだまさしさんプロフィール

長崎市出身。シンガー・ソングライター、小説家。

'73年フォークデュオ・グレープとしてデビュー。'76年ソロ・シンガーとして活動を開始。

「関白宣言」「北の国から」など数々のヒット曲を生み出す。

ソロデビュー以来、通算4500回を超えるコンサートのかたわら、小説家としても「解夏」「眉山」「風に立つライオン」などを発表。多くの作品が映画化、テレビドラマ化されている。

またNHK「今夜も生でさだまさし」のパーソナリティを10年以上継続、NHK連続テレビ小説「舞いあがれ！」の語りなどでも活躍。

2015年「公益財団法人 風に立つライオン基金」設立以来、さまざまな助成事業や被災地支援事業などにも尽力。今年50周年を迎え、6月より50th Anniversary 全国コンサートツアーの開催が決定している。